



谷藤EYE通信

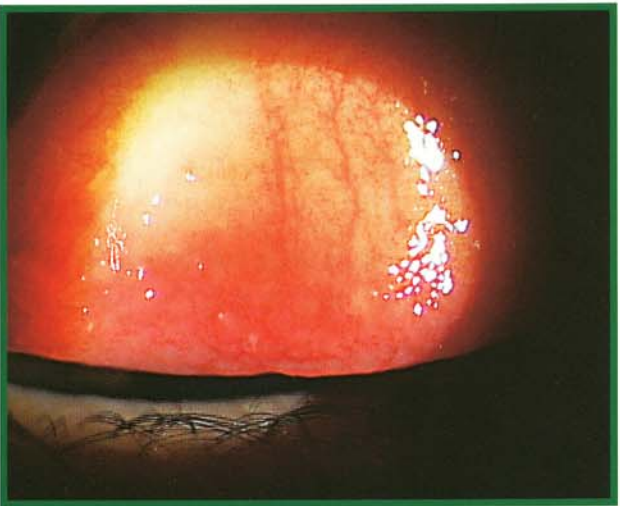
医療法人泰明会 谷藤眼科医院 盛岡市前九年二丁目2-38
URL <http://www.5d.biglobe.ne.jp/~tanieye/>

平成17年(2005年)
10月・11月・12月号
No.17
Tel : 019-646-2227
Fax : 019-645-3811

巨大乳頭性結膜炎について 院長 谷藤 泰寛

最近目につく困った問題としてソフトコンタクトレンズ殊に長期装着型、例えば2週間使用して捨てるタイプのコンタクトレンズ（以下CLと略）使用者に頻発する病態です。

瞼の裏の結膜に充血を伴う大きなぶつぶつが出来て違和感や痒みを自覚し、またひどい場合には角膜の周辺部に血管侵入を伴って痛みが出てくることがあります。もともとドライアイやアレルギー体質のある方に起きやすいことは確かですが、決められた装着時間を守っていなかったり、CLの汚れや消毒薬の残留、アレルギー物質のCLへの沈着等が考えられます。



対策としてはCLの十分な洗滌が第一ですが、防腐剤フリーの人工涙液が有効なこともあります。また1日使い捨てタイプのCLへの変更をお勧めし、抗アレルギー剤や作用の穏やかなステロイド剤などの点眼を行うことがあります。

何れにしろ、ソフトCL使用者は定期的な検査が必要なことはもちろんですが、異物感や充血といった初期症状をないがしろにしない態度が必要と思われます。

（この記事については、日本眼科医会；宇津見義一理事の助言を受けました）

〈ソフトコンタクトレンズの洗滌・消毒〉



手のひらにのせたコンタクトレンズに、洗浄液を数滴つけ、裏表各30回指で軽くこすりながら洗います。



洗ったレンズの両面をよくすすぎ、消毒します。

装着するとき、場合によっては生食ですすいでも良いでしょう。

（レンズケースは定期的に新しいものと交換しましょう）

伝染性結膜炎(はやり目)にご注意!

副院長 姜 和哲

あっという間に暑い夏も終わり、読書・味覚の秋となりましたが、最近市内では、伝染性の結膜炎が流行しているようです。これは細菌性の結膜炎と違い、アデノウイルスというウイルスが原因で引き起こされます。ウイルスにはそれぞれ型があり、型によって流行性角結膜炎(8型、19型、37型)、咽頭性結膜熱(プール熱)(3型、4型、7型)に分類されます。症状におきましては、急激に発症する結膜充血、流涙、眼脂で始まり、時に眼瞼・結膜のむくみ(浮腫)、眼痛を伴います。特に咽頭結膜熱では、眼症状の他に、発熱や咽頭痛といった風邪症状に似た症状も伴います。



初期の場合なかには充血が軽度のこともあり、この時期アレルギー性結膜炎に類似することもあるので注意が必要です。現在、鑑別診断のために、このウイルスを迅速診断することができる検査キットもあります。約15分での判定で簡便であり、陽性ができれば、ほぼ確定(特異率100%)なのですが、陽性率が約60%程度のため、陰性であっても否定できない場合があります。

治療法ですが、現在アデノウイルスに有効な抗ウイルス薬は開発されておらず、対症療法(混合感染予防のための抗菌点眼薬、抗炎症点眼薬)となります。つまり、症状が安定するまで(感染性が消失するまで)には約1~2週間を要します。なかにはその後に角膜に濁り(角膜上皮下混濁)を伴うこともあり、その後も数ヶ月治療を要する場合があります。したがって、なによりも流行予防が第一であり、ウイルスをもらわない、うつさないことが先決です。

感染経路は、インフルエンザウイルスのような空気感染ではなく、そのウイルスを持っている患者様の涙液や眼脂から主に感染します。つまり、そのようなものが付着したもの(手指やタオル)からの感染(接触感染)が多いので、特に手洗いの励行は必須です。

少しでも上記の症状に該当する場合は、放置せず当院に来院いただき、精密な検査を受けていただくことをお勧めいたします。その際はスタッフの指示、誘導にご協力をお願いいたします。

マナーアップ宣言

看護師 石原 英治

最近路上のゴミが多いような・・・

自分でゴミ拾いをするようになってからつくづく思います。たばこの吸殻に始まり、空き缶、ペットボトル、ファーストフードの包装紙などいろいろあります。

当院で毎週木曜日の朝、医院周辺のゴミ拾いを皆でしています。ゴミ拾いをし、きれいに見えてくると何となく気持ちも良くなってきます。私が学生の時の恩師に、「掃除とは、心を磨く第一歩だ」と言われました。やはり生活する上で、きれいな環境にいると気持ちも落ち着きます。ひとりひとりがゴミのポイ捨てを無くしていけば、気持ちよく日常生活をおくれるのではと思います。何時何処で何が起こるかわからなくなってしまった今、コツコツ自分の心を磨いていきたいと思う今日このごろです。



コンタクトレンズのトラブル

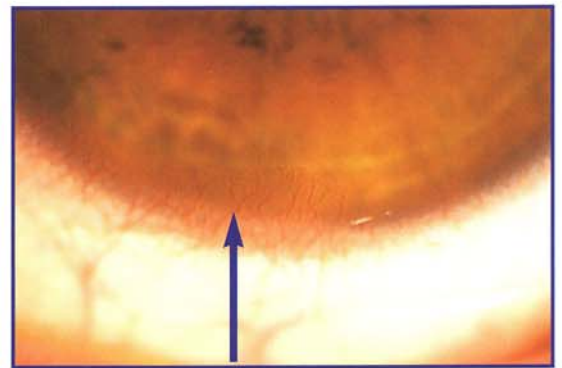
視能訓練士 小原 瞳

最近コンタクトレンズ（以下CL）のトラブルが増えています。使用方法を守って装用していれば安全ですが、間違った使用方法では重篤な問題が生じます。

角膜は血管がないため、角膜上皮を通して酸素を取り入れます。CLを定められた時間以上装用すると、酸素欠乏になります。それを補うために本来はない血管が角膜に伸びてきます。この血管は一度できると消える事はなく瞳孔の位置まで伸びると視力低下につながります。

CLの不適切な使用原因で重度の視覚障害に至らないためには、使用期限や装用時間を守らない、洗浄不十分、装用したまま眠る、定期検診を受けないなどの間違った使い方は今すぐ改めていただきたいと思います。また、ソフトCLはハードCLに比べ初めての方でも装用感が良いため選択しがちですが、角膜の感覚が鈍るので傷や病気に気づきにくく、細菌などが繁殖しやすいのでより注意が必要です。

現在CLは、非常に多くの種類があります。患者さんの屈折状態だけでなく、社会的背景や生活背景を考慮したうえで最もふさわしいレンズを選択する必要があります。患者さんに正しい知識を提供できるようCLの特徴や取り扱い方法をより熟知していこうと思います。



(CLの影響で角膜へ血管進入)

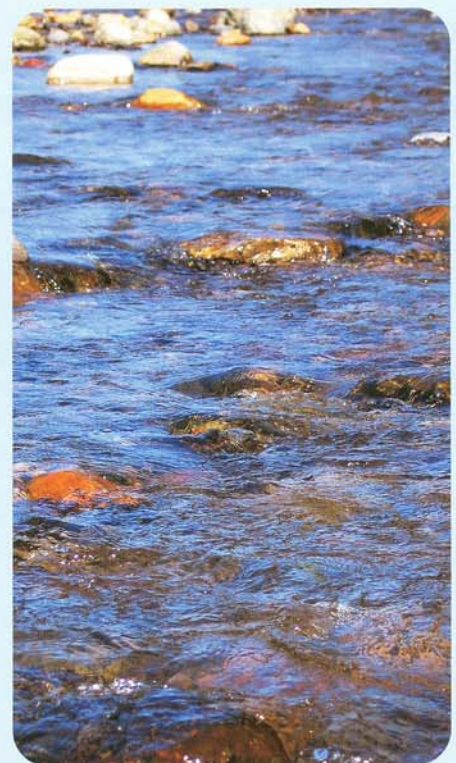
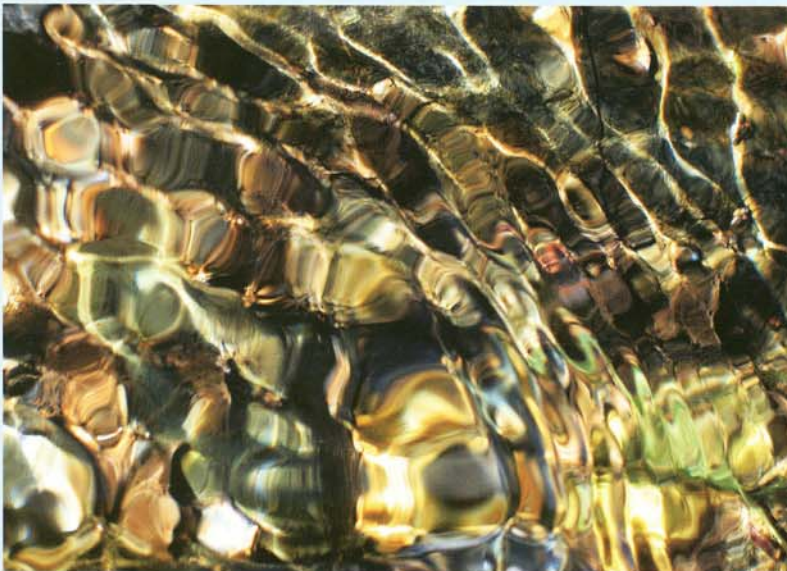
～'05 夏の川～

受付事務 三浦 洋子

たくさんの野いちごを発見！

毎年この川に来て限られた夏、新たな発見と共に楽しく過ごします。今年はカジカは見れなかったけど、小石を固め狭い所に潜んでいる川虫。その姿に一生懸命さを感じました。

川の流れを聴いていると嫌なことも一緒に流してくれる気がします。今年もこの川のおかげで暑い夏を乗り切ることが出来ました。



耐性菌（たいせいきん）という言葉を知っていますか？

代表的なところで言うと、みなさまも新聞や雑誌、ニュース等で「MRSA発生」という言葉を聞いた事があるかと思いますが。MRSAとはメチシリンという抗菌薬に対し、耐性（薬が効かない力）を持ってしまった黄色ブドウ球菌を指します。使える抗菌薬が少ない上に、毒素を出して人間の体に悪影響を及ぼします。しかし、通常健康な人の体には、黄色ブドウ球菌や他のいろいろな菌は共存しているのです。

では何故、そのような菌が発生してしまうのでしょうか？ 1929年にフレミングにより、ペニシリンが発見されて以来、さまざまな種類の抗菌薬が開発されてきました。しかし、さまざまな種類の抗菌薬が普及すると共に、微生物（菌）はその薬剤を自分に効かないように進化してきたのです。

菌と抗菌薬はいまだに、「いたちごっこ」を繰り返しているのです。菌は、抗菌薬が自分に効かないように自分の体から酵素を出して、薬剤を分解する能力や、自分の体の一部を変化させて薬剤から逃げる能力や、細胞膜を変化させて、抗菌薬が入ってこないようにする能力をもっています。

最近では1種類の抗菌薬だけではなく、同時に種類の違う多数の抗菌薬にも耐性を示す菌も出現しています。こういう耐性菌を出現させない為に、現在では、抗菌薬の適正使用が叫ばれています。抗菌薬が漫然と使用される事により、菌は耐性（薬が効かない力）をもつように進化していきます。

抗菌薬は販売前に試験を行い、どういう菌にどれぐらいの濃度、投与期間で効果があるかを確認しています。このデータを元に先生方はみなさまへ、抗菌薬を適正投与し、耐性の発現を極力注意しながら、治療されております。お医者さん、薬剤師の先生、服薬指導を遵守する事が、治療のみならずこのような耐性菌発現を抑える事になるのです。



お知らせ

- 10月1日(土) 日本眼科第4回理事会；院長出席予定
- 10月7日(金)～10日(月) 第59回日本臨床眼科学会（札幌市）；
院長・副院長（姜）・事務長出席予定
- 10月10日(月) 目の愛護デー
- 12月3日(土) 第22回いわてORTの会勉強会
- 12月10日(土) 日本眼科第5回理事会；院長出席予定

※年末年始休診予定；12月28日(水) 午後 ～ 平成18年1月3日(火) まで

報告

- 7月2日(土) 第21回岩手眼科臨床懇話会（盛岡市）；
出席者：院長・副院長（姜）・篠村・藤村・相原・櫻田・村上・谷藤（は）・石原・三浦（早）
- 7月2日(土) 第21回いわてORTの会勉強会（岩手県立中央病院）；
出席者：村上・小原・谷藤（は）・三浦（早）
- 7月15日(金)～16日(土) 第43回北日本眼科学会（旭川市）；院長出席
- 7月23日(土) 第308回岩手眼科集談会；
「過剰濾過胞の修復例について」院長谷藤泰寛発表
出席者：副院長（姜）・村上・谷藤（は）
- 8月6日(土) 日本眼科医会第3回理事会；院長出席
- 8月28日(日) 第28回日本眼科医会東北ブロック講習会（郡山市）；院長出席
第16回東北ブロック眼科医療従事者教育講習会（郡山市）；早坂・村上出席
- 9月10日(土)～14日(水) 第23回欧州白内障屈折手術会議（ESCRS）
（ポルトガル：リスボン）；院長・谷藤（は）出席